

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
コメリH&G京丹波店■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 竣工段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境			0.40			2.5
1 音環境		1.0	0.15	-	-	1.0
1.1 室内騒音レベル	-	1.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音	-	1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	-	1.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能	-	3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	1.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音	-	1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御	-	3.0	0.50	-	-	
1 室温	-	3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能	-	3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用	-	3.0	0.50	-	-	
1 昼光率	-	3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口	-	-	-	1.0	-	
3 昼光利用設備	-	3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策	-	-	-	-	-	
1 昼光制御	-	3.0	-	3.0	-	
3.3 照度	-	3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御	-	3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策	-	3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	-	3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気	-	3.0	0.30	-	-	
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能	-	3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理	-	3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	-	3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	-	3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	-	3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	-	3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	売場の天井高さを4.5m以上としている。	5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	-	3.0	0.33	-	-	
3 内装計画	-	1.0	0.33	1.0	-	
1.3 維持管理	-	3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	-	2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	1.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高さを5.95mとしている。	5.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.07としている。	5.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.9
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	モデル建物法により、BPIを0.87としている。	4.3	0.20	-	-	4.3
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	モデル建物法により、BEIを0.72としている。	4.6	0.50	-	-	4.6
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	-	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用	-	-	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	1.00	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率を78%に抑えている。	3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	メインエントランス付近に駐輪場を配置し、2ヶ所の乗入口と十分な駐車台数を確保している。	5.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
	2 振動	-	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

コメリH&G京丹波店

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	-	-	3.0	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSG - 窓の日射熱取得率(η) 0.5

U値(W/m2K) 窓システム 4.8 屋根 0.6 外壁 1.4 床 -

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -

昼光率 1.5%

自然換気有効開口面積率 3.3%

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース 201.1㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

コンセント容量 0.0 VA/㎡

天井高 4.5 m

リフレッシュスペース 0.7% レストスペース 0.0%

想定耐用年数 20 年

想定必要間隔 0 年

想定必要間隔 15 年

想定必要間隔 15 年

階高 5.95 m

壁長さ比率 7.0%

床荷重 2900 N/m2

外構緑化指数 7% 建物緑化指数 0%

空地率 68% 水平投影面積率 2% 地表面对策面積率 19% 舗装面積率 36%

BPI/BPI_m 0.87 断熱等性能等級 対象外 相当

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

BPI/BPI_m 非住宅 0.72 住宅 0.72 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

雨水利用率 0.0%

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

使用比率 0.0%

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

見付面積比 20% 隣棟間隔指標Rw 2.90

地表面对策面積率 20.0% 屋根面对策面積率 0.0% 外壁面对策面積率 0.0%

見付面積Sb 736㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Wa 136.73 m 基準高さHb 26.333333 m

緑地 386㎡ 水面 1,123㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 200㎡ 再帰性反射対策面 ㎡